



# 安全のために必ず守ること

## 安全表示と記号

●ご使用前に、「正しくご使用頂くために」「安全のために必ずまること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようにになっています。

### ⚠ 警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

### ⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

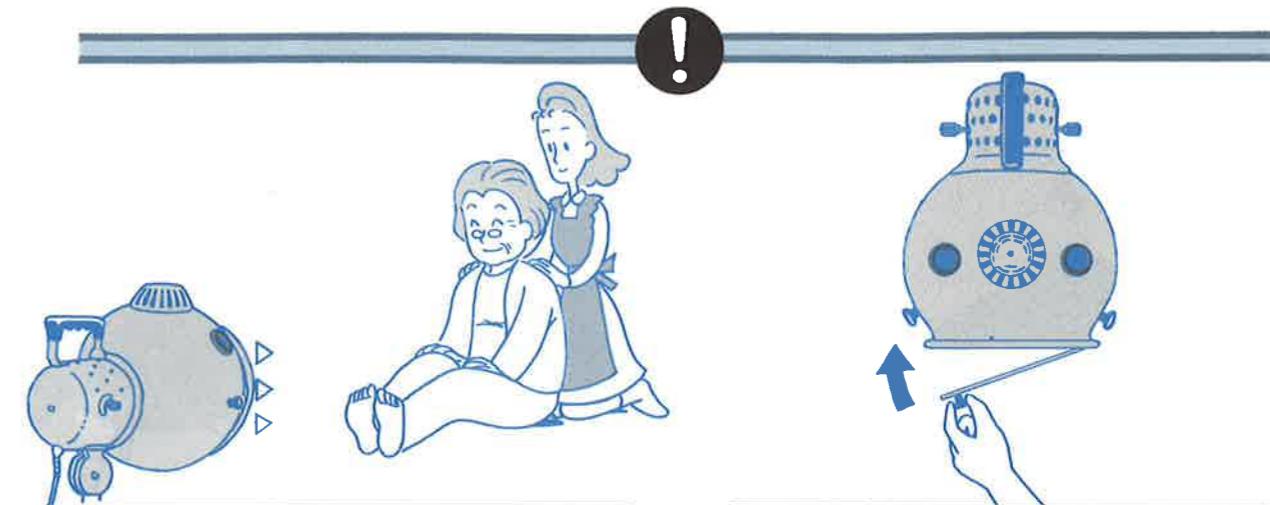
本文中に使われる“図記号”的意味は次の通りです。

	一般的な注意を示しています。
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	触れないでください。

★本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

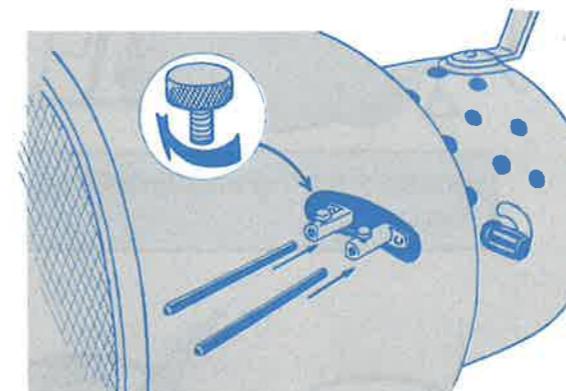


## ⚠ 警告 けが・やけど・感電・火災の原因になります

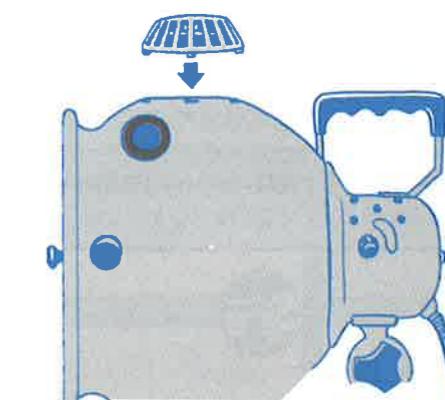


●幼児、お年寄り、お体の不自由な方、ご自分で意思表示の出来ない方の治療には必ず付き添う。

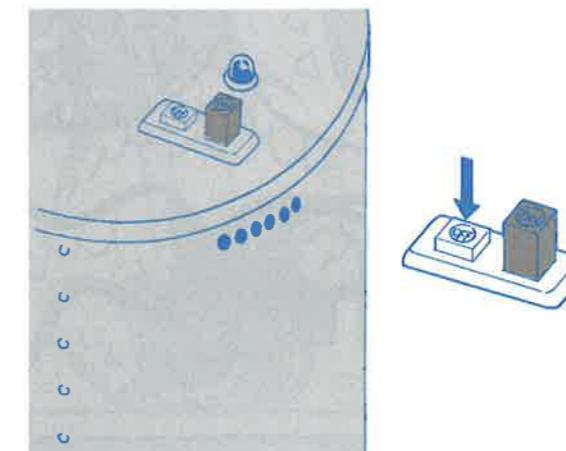
●保護アミは、必ず閉めて固定ツマミでしっかりと固定し、使用する。



●カーボン電極は、カーボン固定ネジでしっかりと取付ける。



●照射器上部の排気口カバーは必ず取り付けて使用する。



●カーボン電極の取り付けや交換、および治療終了後は必ず電源スイッチを「OFF」にする。

※次のページも必ずお読みください。



# 安全のために必ず守ること

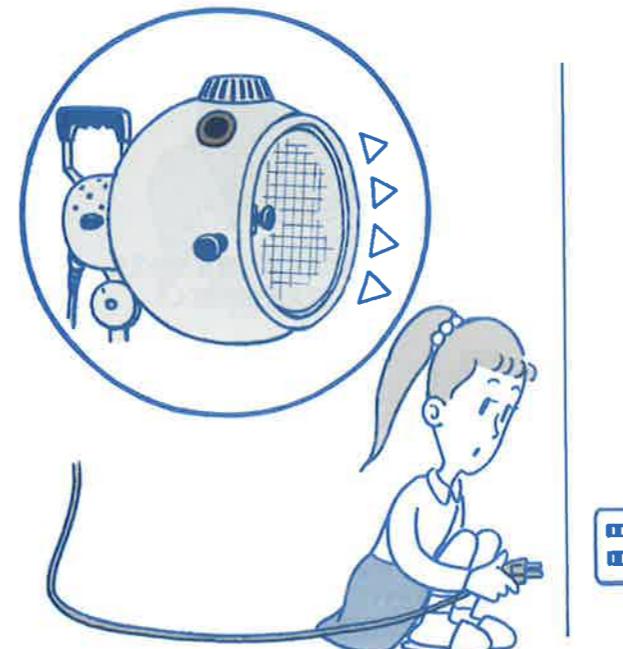
⚠ 警告 けが・やけど・感電・火災の原因になります



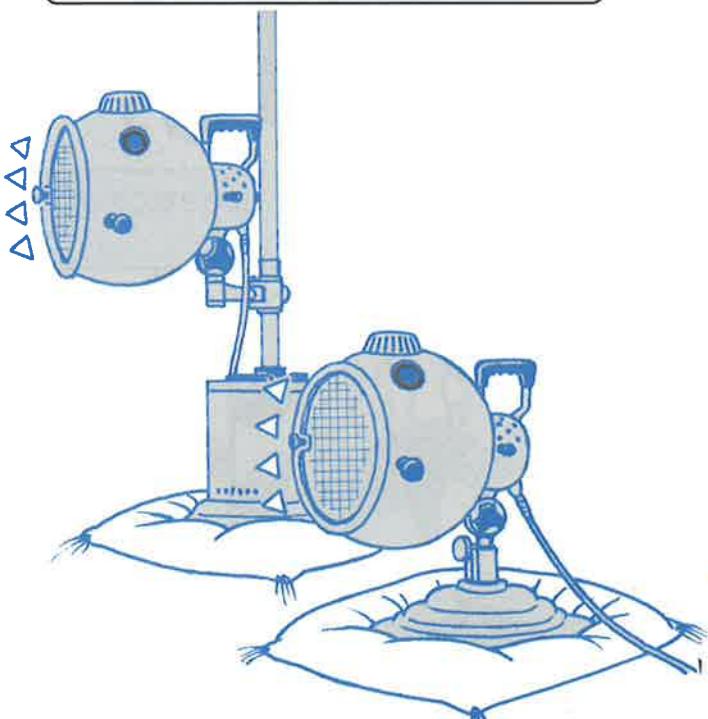
- 発光させたまま就寝したり、治療器から離れない。



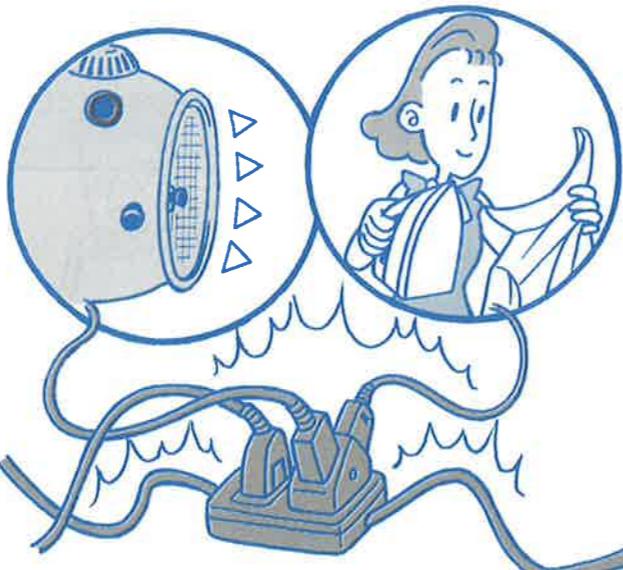
- 治療中および治療後は照射器の上をもので覆わない。



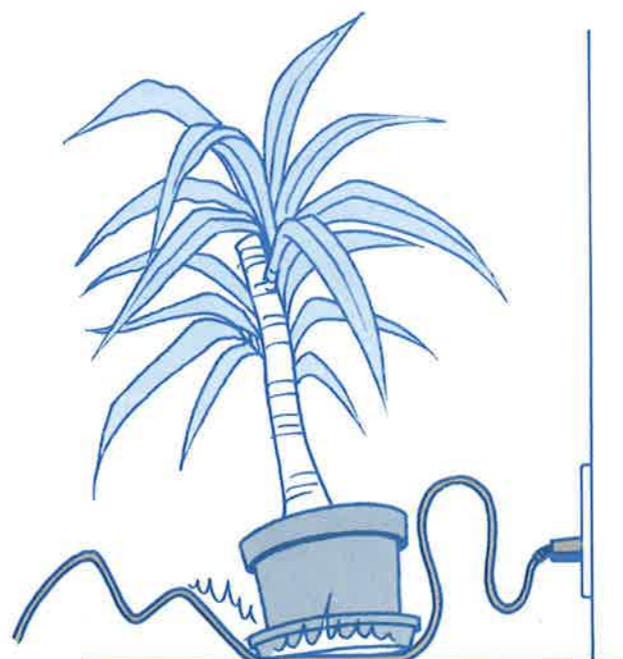
- 発光中に電源差し込みプラグの抜き差しはない。



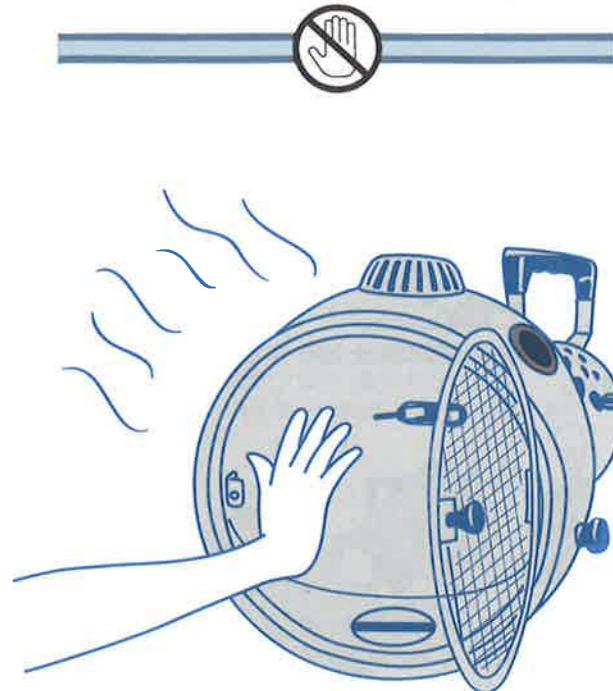
- 燃えやすい物(座布団、敷布団、可燃性の物)の上に照射器を載せて発光させない。



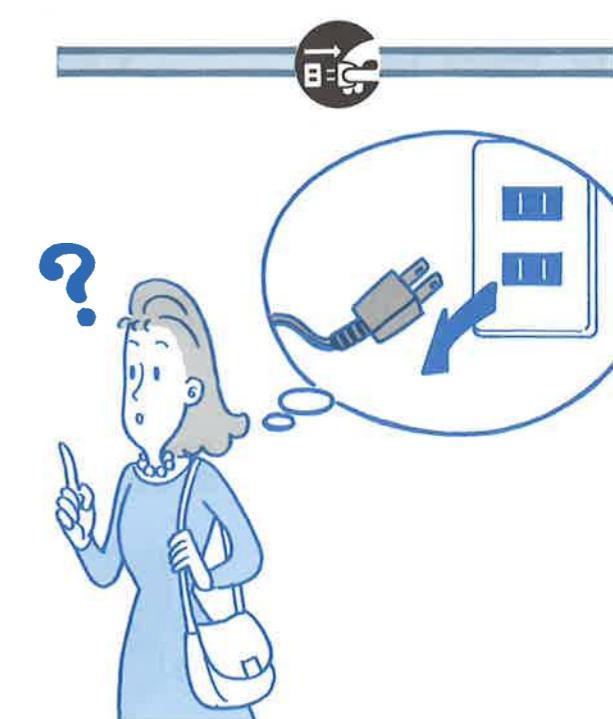
- 電源コードの中間接続・延長コードの使用、タコ足配線はしない。



- コードは傷つけたり、重い物を載せたり、加工、加熱しない。



- 保護アミ・照射器が冷えるまでは照射器の中に、手、紙、布等を入れない。

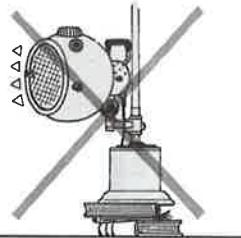


- 使用しない時・外出の時は差し込みプラグを家庭用コンセントから抜く。

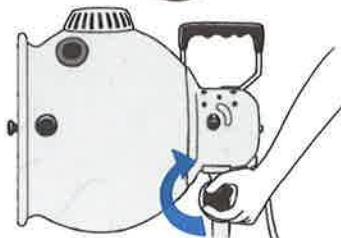


# 安全のために必ず守ること

## ⚠ 注意 けが・やけど・漏電・感電・火災の原因になることがあります



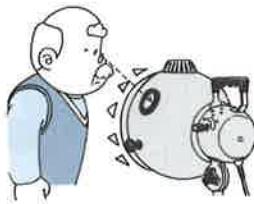
●転倒防止のため平らで安定した場所で使用する。



●照射器の角度調整ハンドルはしっかりと締める。



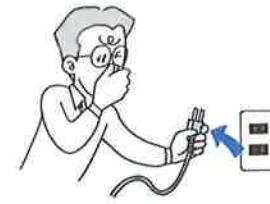
●治療終了後はカーボン電極が冷えたら照射器内部に溜めず取り除く。



●発光状態の確認は、照射器の発光確認窓より行う。直視する場合はサングラス等を使用する。



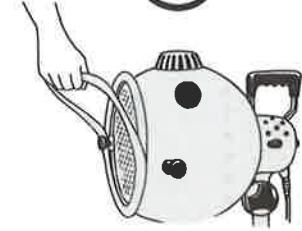
●照射中に照射器の移動、照射部位の変更をする場合は必ず発光を止める。



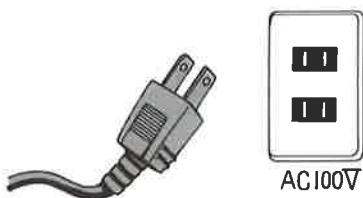
●コード等より異常な発熱や臭いが出た時、治療器の異常時には、直ちに使用を停止して電源プラグを抜く。修理についてはお問い合わせください。



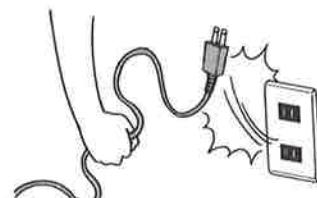
●お客様自身で分解、修理、改造等をしない。 ●照射口保護ゴムは、はずさない。



●濡れた物の乾燥や用途外に使用しない。



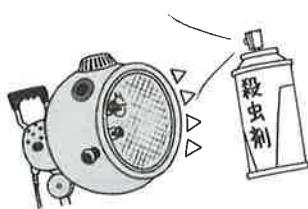
●家庭用電源（交流100V）以外で使用しない。



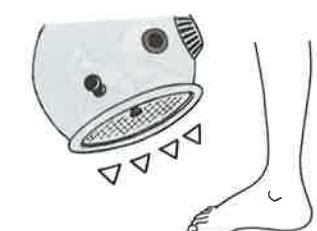
●コードを引っ張らない。コードの取り扱いは必ずプラグ部分を持って行う。



●浴室等水分や湿度の高い所、屋外では使用しない。



●ベンジン、殺虫剤、可燃性スプレー等揮発性の強い物を吹き付けない。



●照射器はなるべく水平にし、下向きで使用しない。



●治療中、治療後冷えるまではカーボン電極、保護アミ、集光器、照射器に手足等を触れない。